

聖霊降臨後第13主日特禱（特定18）

いつくしみ深い全能の神よ、ただあなたの賜物により、神の民は正しく喜ばしい礼拝を献げることができます。どうか私たちが、天の約束を目指して、この世を揺らぐことなく歩んでいくことができますように。父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる私たちの主、イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 申命記30章15—20節

30:15 見よ、私は今日、あなたの前に命と幸い、死と災いを置く。16 私が今日あなたに命じているとおり、あなたの神、主を愛し、その道を歩み、その戒めと掟と法を守りなさい。そうすればあなたは生きて、その数は増える。あなたの神、主は、あなたが入って所有する地であなたを祝福される。17 しかし、もしあなたが心変わりして聞き従わず、惑わされ、他の神々にひれ伏し、仕えるならば、18 私は今日、あなたがたに宣言する。あなたがたは必ず滅びる。ヨルダン川を渡り、入って行って所有する土地で長く生きることはできない。19 私は今日、天と地をあなたがたに対する証人として呼び出し、命と死、祝福と呪いをあなたの前に置く。あなたは命を選びなさい。そうすれば、あなたもあなたの子孫も生きる。20 あなたの神、主を愛し、その声を聞いて、主に付き従いなさい。主こそあなたの命であり、主があなたの父祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた土地であなたは長く生きることができる。

詩編 第1編

- 1 幸いな者、悪しき者の謀に歩まず || 罪人の道に立たず、嘲る者の座に着かない人
- 2 主の教えを喜びとし || その教えを昼も夜も唱える人
- 3 その人は流れのほとりに植えられた木のように || 時に適って実を結び、葉も枯れることがない。その行いはすべて栄える
- 4 悪しき者は違う || 風が吹き払うもみ殻のように
- 5 悪しき者は裁きに || 罪人は正しき者の集いに耐えられない
- 6 主は正しき者の道を知っておられる || 悪しき者の道は滅びる

使徒書 フィレモンへの手紙 1章1—20節

1 キリスト・イエスの囚人パウロと兄弟テモテから、私たちの愛する協力者フィレモン、2 また姉妹アフィア、私たちの戦友アルキポ、ならびにあなたの家の教会へ。3 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。

4 私は、祈りの度に、あなたのことを思い起こして、いつも私の神に感謝しています。5 というのは、主イエスに対するあなたの信仰と、すべての聖なる者たちに対するあなたの愛とについて聞いているからです。6 私たちの間でキリストのためになされているすべての善いことを、

あなたがよく知り、あなたの信仰の交わりが活発になるようにと祈っています。7 兄弟よ、私はあなたの愛から多くの喜びと慰めを得ました。聖なる者たちの心が、あなたのお陰で元気づけられたからです。

8 それで、私は、あなたのなすべきことを、キリストにあって極めて率直に命じてもよいのですが、9 むしろ、愛のゆえにお願いします。年老いて、今はまたキリスト・イエスの囚人となっている、この私パウロが、10 獄中で生んだ私の子オネシモのことで、あなたに頼みがあるのです。11 彼は、かつてはあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたにも私にも役立つ者となっています。12 そのオネシモをあなたのもとに送り返します。彼は私の心そのものです。13 本当は、彼を私のもとにとどめて、福音のゆえに獄中にいる間、あなたにではなく私に仕えてもらいたいと思ったのですが、14 あなたの承諾なしには何もしたくありません。あなたの善い行いが強制されたものではなく、自発的なものであってほしいと願うからです。15 彼がしばらくの間あなたから離れていたのは、恐らく、あなたが彼を永久に取り戻すためであったのでしょう。16 もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、愛する兄弟としてです。オネシモは、とりわけ私にとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずです。17 ですから、あなたが私を仲間と見なしてくれるなら、オネシモを私と思って迎え入れてください。18 また、彼があなたに何か損害を与えたり、負債を負ったりしていたら、それは私の借りにしておいてください。19 私パウロが自分の手でこう記します。私が返済します。あなたが自分を、私に負っていることは、言わないでおきましょう。20 そうです。兄弟よ、私は主にあって、あなたから喜びを得たいのです。キリストにあって、私の心を元気づけてください。

福音書 ルカによる福音書 14章25－33節

14:25 大勢の群衆が付いて来たので、イエスは振り向いて言われた。26 「誰でも、私のもとに来ていながら、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の命さえも憎まない者があれば、その人は私の弟子ではありえない。27 自分の十字架を負って、私に付いて来る者でなければ、私の弟子ではありえない。28 あなたがたのうち、塔を建てようとするとき、造り上げるのに十分な費用があるかどうか、まず腰を据えて計算しない者がいるだろうか。29 そうしないと、土台を据えただけで完成できず、見ていた人々は皆嘲って、30 『あの人は建て始めたが、完成できなかった』と言うだろう。31 また、どんな王でも、ほかの王と戦いを交えようとするときは、二万の兵を率いて進軍して来る敵を、自分の一万の兵で迎え撃つことができるかどうかを、まず腰を据えて考えてみないだろうか。32 もしできないと分かれば、敵の王がまだ遠くにいる間に、使節を送って和を求めよう。33 だから、同じように、自分の財産をことごとく捨て去る者でなければ、あなたがたのうち誰一人として私の弟子ではありえない。」